

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 KAFUU		公表日		R7年 5月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	・午睡室を確保し、しっかり午睡がとれるようにしています。 ・室内と外活動の児童を分ける事ができています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	・一日に休める職員数が決められていて良い。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	5	・事務所や窓の施錠が可能です。	・バリアフリーではありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	・毎日、送迎終了後に消毒・清掃を行います。	・定期的に全体的な清掃が必要です。すでに開始しているので改善されつつあります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	・落ち着かない児童は事務所や別室で過ごすことが出来ます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	4	・朝のミーティング以外でより細かく目標設定と振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	・朝のミーティングで前日の振り返り、改善点を共有しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	・掲示板に様々な研修等を掲示しております。職員間で声をかけあい、参加の申し込みや促しを行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	2		・より具体的にプログラムを作成していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	1			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	1		・さらに共通理解を深めていく必要があります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	2		・全体に共有されていない内容もあるかもしれないので、より綿密な打ち合わせが必要。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	・強度行動障害の研修を全職員が受講しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・1人で負担する事がないように、活動内容を立案するチームを作っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	・日々、活動内容や活動場所を変えて、連続して同じ活動が重ならないように工夫しています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	・短時間でできる集団活動を積極的に取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・朝のミーティングでその日の活動場所や支援内容を共有し、意見交換を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2	・終了後には行えていませんが、翌日の朝のミーティングで共有しています。 ・朝のミーティングで昨日の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1	・記録のリーダーを決め、声かけ等により、全体で取り決めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・モニタリングの情報も共有すべきところは共有できています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	・関係機関で連絡先を交換しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	・昼食や午睡の様子を、保育園や幼稚園職員がお互いを訪問して見学させていただき、相互の情報交換を、直接お会いして行うことができています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	・必要な情報は会議等によって共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	3		・今後、児童発達支援センターとの連携を図っていく必要があります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	4		・今後実施していく必要があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	・帰りの送迎時や保護者とのLINEで情報を伝えています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	1	・事業所内の掲示板により告知し、参加の機会が設けられています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	・モニタリングや必要に応じた個別相談、会議等を開き、参加しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	1	・対面でご説明し、持ち帰るか、読み合わせを行い、質問等の確認を行ってからご署名いただくようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	・必要に応じて個別に相談や会議を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	4	・イベント開催時にはご家族、ご兄弟、祖父母をご招待し、楽しめるよう工夫をしています。	・父母の会については、今後積極的に実施していく必要があります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・希望があれば午前中來所していただいたり、電話やLINEでのやり取りに対応したりしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	2	・行事予定を保護者へLINEにて発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・児童の活動写真を撮影する許可をいただき、契約の際に書面で確認しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・文章や文字の理解が難しい児童や保護者に対しては、音声、通話により情報を伝達しています。 ・写真やイラストを用いて相互に分かりやすく伝えあえるように工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	2	・地域イベントに参加や訪問をする事はありますが、招待の場合は、現実的に難しい所もあり、より配慮が必要だと思えます。	・今後（地域に開かれた）事業運営を図っていくべきです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	5		・マニュアル等をしっかりと作成し、訓練はより綿密に実施していく必要があります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	5		・計画はしっかりと策定し、訓練はより綿密に実施していく必要があります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	1	・ミーティングで情報共有し、職員のLINE等でもご利用の事前に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	4		・安全計画をしっかりと作成し、必要な研修をさらに実施していく必要があります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	3		・安全計画を通して、必要な研修をさらに実施していく必要があります。 ・家族への周知をさらに広める必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	・特定の職員だけでなく、各々ヒヤリハット作成と閲覧ができるよう、データで管理しています。	・朝礼で情報共有しているが、状況の記録や再発防止に向けて改善策を記録していると思います。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	3	・掲示板により、積極的な研修への参加の機会設けられています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	3		虐待防止計画を通じて、もっと研修を行う必要があると感じます。	